

各部会報告資料

- ・子ども部会(P2-3)
- ・就労部会(P4-6)
- ・相談支援部会(P7-8)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P9-11)

子ども部会活動報告（令和4年度第1回）

1 部会の目的

障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

2 令和3年度の実績

(1) 運営体制

障がい児のライフステージ毎に3班に分かれて、それぞれの班で課題整理を実施。

(2) 取組内容

① A班（未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む）

- ・保健師や子ども発達支援センターの役割の明確化（アンケート実施）
- ・出生から福祉制度利用までのフローチャート作成
- ・各区ネットワークとの連携（状況確認等）

② B班（小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む）

- ・本人・保護者へのニーズ調査（次年度へ継続）
- ・ネット依存、ゲーム依存についての研修開催
- ・幼稚園・保育園—小学校—中学校の移行期の課題についての検討

③ C班（高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む）

- ・普通高校における障がいをもつ生徒へのサポートについてアンケート（次年度へ継続）
- ・専門家に高校でのサポートの現状についての研修開催
- ・障がい児に関する情報発信ツールの作成（次年度へ継続）

(3) 振り返り

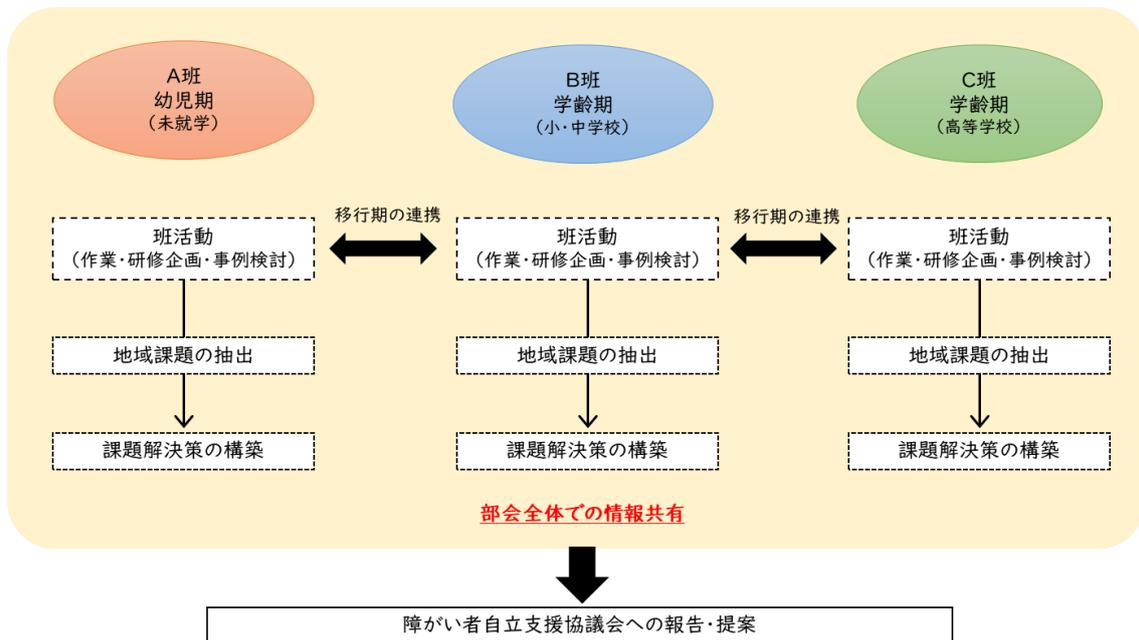
コロナ禍における影響によりオンラインでの開催が多くなり、班活動を進めることができず、各班とも次年度へ継続した内容が多くなっている。

3 令和4年度の実績予定

(1) 運営体制

ライフステージに応じた班体制を令和3年度に引き続き維持する。

令和4年度は、療育における現状を把握するために様々な対象者にアンケートを実施する予定。毎月の子部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。



(2) 取組予定

① A班 (未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む)

テーマ：学校、保育機関への移行支援

- ・ 就学時の移行支援
- ・ 保育所等訪問支援事業 (アンケート実施)
- ・ 令和3年度作成のリーフレットの配付及び利用状況の確認

② B班 (小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む)

テーマ：学齢期のアンケートを踏まえ課題の検証と情報提供のあり方を検討する。

- ・ アンケート調査実施及び検証
- ・ 移行期に関するリーフレット作成

③ C班 (高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む)

テーマ：アンケートを通して見えてくる現状からの在学中、卒業後の生活支援と課題について

- ・ 学校アンケートの配送と集計、その活用について
- ・ 特別支援学校卒業後の実態調査
- ・ 就労含む生活支援に向けた KP5000 の円滑な活用をするためには

※運営委員会 (第3月曜日)、部会 (第4火曜日)

就労部会活動報告（令和4年度第1回）

1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

2 令和3年度 of 取組実績

(1) 運営体制

5つの班構成（企業就労班、ホッとワーク班、ワークイノベーション班、お悩み解決班、当事者対話班）に分かれて、各班で作業に取り組んだ。

(2) 取組内容

①企業就労班

一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動

- ・「障がい者雇用促進ガイドブック」の更新作業

②ホッとワーク班

福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツールづくり、情報発信

- ・支援者や雇用主向けの支援機関図と当事者向けの相談フローチャートの作成

③ワークイノベーション班

福祉事業所のより良い仕事作り、給与・工賃向上に向けた取り組み

- ・事業所の利用者の工賃向上、作業環境改善等に向けた取り組みの検討
- ・高次脳機能障害に関する研修の実施

④お悩み解決班

就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する

- ・支援員が抱える事例について悩み相談を行い、問題解決に向けた協議を実施

⑤当事者対話班

当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える

- ・当事者と周囲の方とのすれ違いや誤解に関するアンケートの実施、分析
- ・ふくしのしおり当事者視点版（「Good ジョブ！ノート」）の製作

〔令和3年度班活動の成果物〕

- ・障がい者雇用促進ガイドブック（企業就労班）
- ・相談先たどりつきチャート（ホッとワーク班）
- ・Good ジョブ！ノート（当事者対話班）

3 令和4年度の取組予定

(1) 運営体制

令和3年度に引き続き、5つの班構成（企業就労班、ホッとワーク班、ワークイノベーション班、お悩み解決班、当事者対話班）を維持する。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

(2) 取組内容

①企業就労班

（目標）一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動

- ・「しごといく」（予定）等の成果物の作成
- ・企業就労やサポート企業・団体の啓発に向けた新たな取り組みの実施

②ホッとワーク班

（目標）福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツール作り、情報発信

- ・前年度制作した「相談先たどりつきチャート」の活用と改善
- ・事業所一覧の作成

③ワークイノベーション班

（目標）障害福祉サービス事業所の課題を整理・共有し、解決策を検討する。

さらに、その課題と解決策（案）を熊本市に提言し、行政機関とともにより良い熊本の障害福祉サービス事業所づくりに取り組む

- ・課題の洗い出し・整理・共有（工賃向上等を含む）
- ・課題についての解決策の検討・解決策（案）の作成

④お悩み解決班

（目標）就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する

- ・支援員が抱える事例についてのお悩み相談

⑤当事者対話班

（目標）当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える。

当事者の視点から支援者等と協働して就労について考える。

- ・「自立」とは何かを考える
- ・当事者と医療と福祉の関わりを考える
- ・熊本市の就労に関する提言をまとめる

※運営委員会（第2木曜日）、部会（第1木曜日）

※部会全体としての取り組み

例年開催している「就労フェア」が令和3年度は開催できなかったため、6月2日（木）に開催することとした。

<第5回就労フェア>

日 時：令和4年6月2日（木）15時00分～17時00分

場 所：オンライン（Zoom）開催

参加者：約60人

就労支援事業所、教育機関（保護者含む）、企業、当事者会など

内 容：

① 研修

（テーマ）企業における障がい者雇用について

（講 師）桜十字病院人事部 亀井貴史氏

② 部会の各班の活動成果報告

令和3年度の各班における成果物の発表や活動状況についての発表

※コロナ禍の影響により平成30年度以来となる約3年ぶりに、初のオンラインでの開催となりました。

相談支援部会活動報告（令和4年度第1回）

1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

2 令和3年度の取組実績

（1）運営体制

主任相談支援専門員を中心としたコアメンバー会議を開催し、部会の下部組織の運営委員会からの意見を踏まえて具体的な企画等を検討して実施。

（2）取組内容

令和3年度は全てオンラインでの開催となった。

（主な内容）

① 研修及び行政説明

- ・令和3年4月報酬改定の概要について（障がい保健福祉課）
- ・基幹相談支援センターについて（障がい保健福祉課）
- ・児童関係に係る事業所との連携について（アンケート結果報告）
- ・計画相談支援のプロセスについて（宇城圏域障がい者基幹相談支援センターきょうせい）
- ・医療的ケア児の支援について（熊本大学病院小児在宅医療支援センター）
- ・アディクションの理解と対応（菊陽病院ソーシャルワーカー室）
- ・生活困窮者支援について（熊本市中央生活自立支援センター）

② グループワーク及び事例検討

- ・今後部会で取り組みたいこと
- ・グループスーパービジョンによる事例検討
- ・困窮に関する社会資源の共有、生活困窮のケースについて

3 令和4年度の取組予定

（1）運営体制

運営委員会のメンバーを3つの班編成（スキルアップ班、地域課題班、社会資源班）に分けて、各班で課題を整理して、取り組む内容を検討した企画を全体会において実施していく。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

(2) 取組予定

月毎に企画を実施する担当班を割り当てて、部会を進めていくこととする。

① スキルアップ班

- ・計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

② 地域課題班

- ・個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・個別のニーズや課題から地域課題の抽出

③ 社会資源班

- ・地域の社会資源を収集、整理
- ・社会資源の情報の共有

※スケジュール（案）※前期

	テーマ	担当	運営	部会
4月			4/18	-
5月	令和4年度部会の体制について 市成年後見支援センターについて 集団指導、報酬改定等の説明	さいせい じょうなん 障がい保健福祉課	5/9	5/17
6月	担当者会議の進め方（案）	スキルアップ班	6/2	6/21
7月	未定	地域課題班	7/7	7/19
8月	未定	社会資源班	8/4	8/16
9月	未定	スキルアップ班	9/1	9/20
10月	未定	地域課題班	10/6	10/18

※運営委員会（第1木曜日）、部会（第3火曜日）

精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和4年度第1回）

1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

2 令和3年度の取組実績

① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～5回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

② 取組内容

1、全体部会

6月10日 第1回全体部会 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

9月17日 第2回全体部会開催（出席48名）

内容 ・地域移行支援基礎研修
・各区部会の報告
・グループでの意見交換

12月7日 第3回全体部会開催（出席55名）

内容 ・各区部会報告
・地域移行支援事例報告（3例）
・グループでの意見交換

2月15日 第4回全体部会開催（出席53名）

内容 ・各区部会報告
・地域移行支援利用者の体験談発表（2名）
・グループでの意見交換

2、区部会

別紙資料1参照

3、コアメンバー会議

4月（出席14名） 区部会報告、6月全体部会について

5月 中止

6月（出席9名） 区部会報告、今年度計画立案

7月（出席11名）	区部会報告、全体部会計画
8月（出席10名）	区部会報告、9月全体会検討、医療機関訪問し事業啓発
9月（出席10名）	9月全体会振り返り
10月（出席9名）	区部会報告、12月全体部会検討
11月（出席7名）	区部会報告、12月全体部会検討
12月（出席10名）	12月全体部会振り返り
1月（出席8名）	区部会報告、2月全体会検討
2月（出席10名）	2月全体部会振り返り
3月（出席11名）	年度振り返り、来年度計画

3 令和4年度の取組予定

① 運営体制

令和3年度と同様

② 取組予定

今年度は地域アセスメントの実施を計画しており、地域ごとの状況や社会資源を調査し課題を把握し取組を検討していくことを目標としている。

また、ピアサポータの参加を促進しており、今年度は全体部会にも参加を予定。当事者の意見を活用しさらに事業の質の向上と推進を目指している。

1、全体部会

6月、9月、12月、2月の年4回の開催を予定。

※6月全体部会は6月14日に開催済み。65名参加。ZOOM開催。

内容 基礎研修・事業説明

年間計画説明（地域アセスメントについて）

グループでの意見交換

2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

- ・中央区 5/24 第1回開催済み
- ・東区 7/21 第1回開催予定
- ・南区 5/20 第1回開催済み
- ・西区 7/25 第1回開催予定
- ・北区 6/29 第1回開催済み

3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。4～7月の会議は開催済み。

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。

令和3年度精神障がい者地域移行支援部会「区部会」活動実績

資料1

区	コアメンバー(旗振り役)		開催回数	場所・方法	担当AD	令和3年度活動状況	室担当
中央	大関氏 (ウイズ)		3回	ZOOM	崎山AD	6/23 第1回区部会(ZOOM)、11名参加。 ・コロナ禍における各施設の現状、地域移行支援の状況について情報共有。 8/24 第2回区部会(ZOOM)、8名参加。 ・地域移行の対象者像について情報共有。 ○相談支援センター職員が中央区の病院を訪問し、意見交換や情報交換等を実施。 2/22 第3回区部会(ZOOM)、11名参加。 事例共有、特定相談支援事業所との意見交換	緒方宮崎
東	谷口 部会長 (きらり)	渡邊氏 (青空)	4回	ZOOM	中野AD	5/26 第1回区部会(ZOOM)、19名参加。 ・福祉課より、手帳・受給者証の申請について。 ・昨年度の振り返り(地域移行の進捗状況、アンケート調査)、今年度の計画について。 8/31 第2回区部会(ZOOM)、18名参加。 ・居住支援事業について説明(居宅支援法人日生会、くまもと相談所)。 ・居住支援についてグループワーク。 11/25 第3回区部会(ZOOM)、16名参加。 ・地域移行の対象者について検討、情報共有。 1/19 第4回区部会(ZOOM)、13名参加。 ・権利擁護、金銭管理支援について(社会福祉協議会)、グループワーク	満永室長 宮崎
西	大寫AD (桜が丘HP)	秋吉氏、 後藤氏 (さいせい)	2回	西区役所 ・ ZOOM	大寫AD	8/18 第1回区部会(ZOOM)、5名参加。 ・西区の特色について、地域アセスメントの共有を行い、今後の方向性を検討。 12/20 第2回区部会(西区役所)、6名参加 ・地域移行事例の進捗報告。 ・西区のグループホームへの啓発について検討。	國津主査 宮崎
南	立岡氏 (絆)	渡邊氏 (森HP)	4回	ZOOM	中野AD	6/3 第1回区部会(ZOOM)、6名参加。 ・退院支援についての情報共有のため、ケース検討を行うことを計画。 7/14 第2回区部会(ZOOM)、7名参加。 ・3病院から1例ずつ事例を紹介し、意見交換を実施。 11/24 第3回区部会(ZOOM)、8名参加。 ・南区の社会資源マップ作成について ・事例検討 3/2 第4回区部会(ZOOM) 9名参加。 ・今年度取組に対する意見交換と次年度計画	中野 宮崎